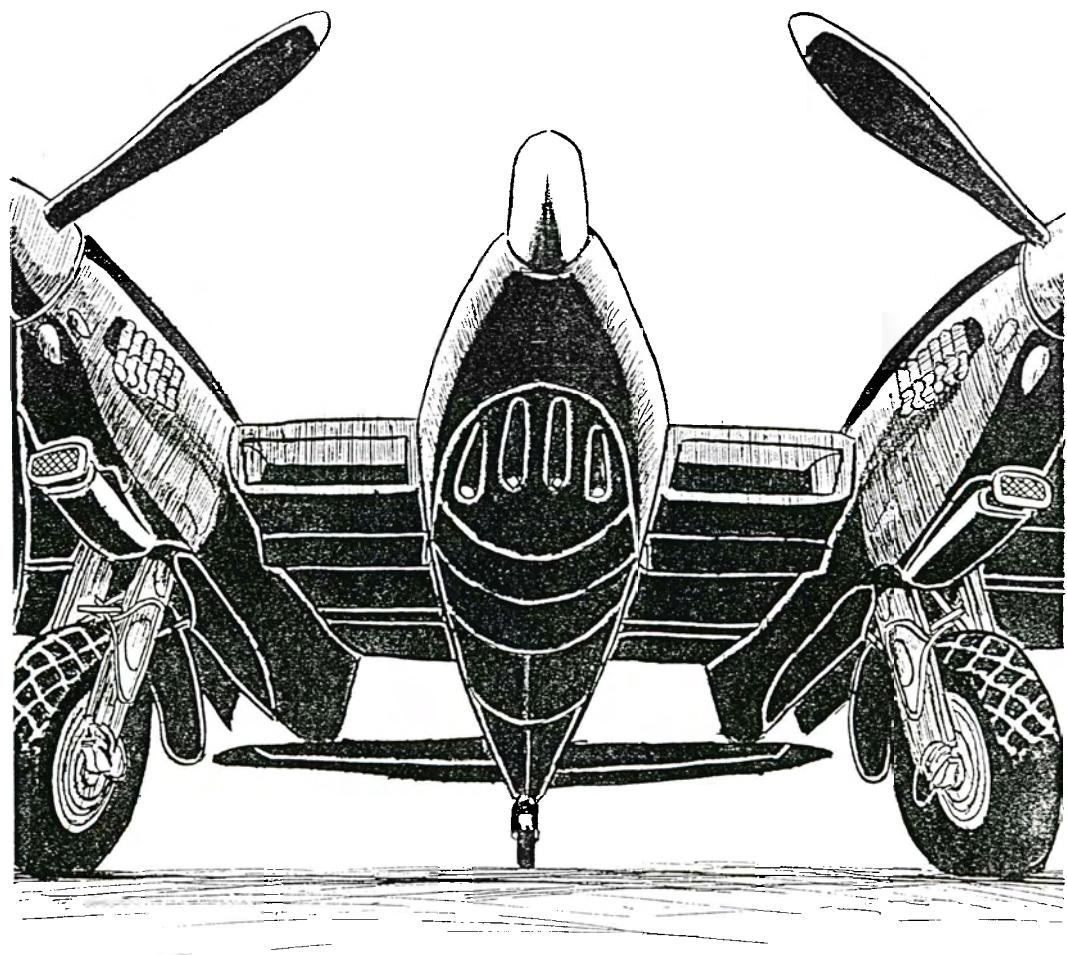


YALISH AIR FORCE.

第20回結果発表
(ゲーム時間: 1944年12月)



今回の表紙: シーモスキート T.R. Mk 3 3
マティーニ大尉機
画 : 孝行 始

☆戦果報告

ウイロビー准将：ご苦労だった。退屈な任務だったろうが、そう腐るな。我々の被害は思ったより軽微、敵の損害もまったくないも同然だ。そして敵艦隊は台湾方面に進出していない。未だにスル海南東部をウロウロしている……ここが重要な点なんだぞ。

ケーディス大佐：いい調子だ。台湾南部の攻略は、少し遅れ気味だが順調に進んでいる。損害は多いが、それも予想された規模の半分前後に収まっている。一番の番狂わせは、やはり米軍だろう。連中がイザベリアで遊んでたせいで兵力を消耗して、主力はイギリス軍になってしまった。その分攻勢もみみつくなってはいるが……。

作戦参加者の状態 (SD:撃墜機数 BS:爆破目標数 SP:評価ポイント OP:作戦参加回数)

プレイヤー	Sqn.	乗機	愛称	キャラクターネーム	S	D	B	S	S	P	O	P	階級	状態	機体
香津美 どぶろく	1 1	6 F 5	アルコール・ブラザースco.	レミー・マルタン	1	0	2	1	准尉	軽傷	少破				
	1 1	6 F 5	アルコール・ブラザースco.	ホワイト・ホース	1	0	2	1	准尉	生還	無傷				
	V F H H r	F	フライング・スコッツマン	パー・ブラウン	0	0	1	1	准尉	軽傷	中破				
	V E F 6 F	そして劇画版	キディ						中尉	事故					
	V E 6 F 5	4巻	那魅						少尉	事故					
宇垣麻美	0 0	P 4 0	愛しのマージ	リチャード・アイラ・ボング	2	0	1	0	5	少尉	生還	無傷			
	0 0	S p t	C A L	ヴィーナス					中尉	戦死					
	1 3	S p t	MOON CRYSTAL	エレナ	0	0	1	1	准尉	生還	無傷				
	V E F 6 F	M 2 4 9	ミニミニ	ラン	1	2	3	9	中尉	生還	無傷				
	V E 6 F 5	R E V I E W	アリサ=アリス						中尉	戦死					
正宗征士	0 0	S p t	タイアン・オバニオン	ジョン・トリオ	0	0	1	2	6	少尉	軽傷	中破			
	B 2	S B D	アーモッド・リーダー	ギャラガー大佐	0	2	1	2	2	少尉	生還	少破			
	V E F 6 F	女戸島竹三	コマンスキ一軍曹	みづぼし翼	2	0	3	6	1	中尉	軽傷	中破			
	V B S B D	L O V E L Y E N G E L	ユリ	ケイ	0	2	3	7	8	中尉	生還	少破			
	V B B a r	グーデの紋章	ジリオラ	エフェラ	0	3	3	9	8	中尉	重傷				
			オーリン					2	4	5	少尉				
山田国見	B 0	H u r	—	エスケル・ファール	0	1	3	1	准尉	生還	無傷				
	B 0	S B D	—	カール・ドルス	0	1	3	1	准尉	軽傷	中破				
	B 0	S B D	—	スタンレー・ホーンベック					中尉	戦死					
	B 0	S B D	—	ピレンヌ・オスリック	0	0	0	1	准尉	生還	無傷				
	B 0	S B D	—	ダン・ラナハン					中尉	戦死					
軍司栄一	0 0	S p t	—	ヨハン・シュトラウス	1	0	1	0	5	少尉	生還	少破			
	0 0	6 F 5	ヴィーアル	ウェストハーレン	2	0	3	1	准尉	生還	無傷				
	1 3	P 4 0	カトラス	ジアン・エリクセン	0	0	1	1	5	少尉	軽傷	中破			
	B 0	H u r	ゴルゴン	ターナ・ロンド	0	1	1	5	3	少尉	生還	無傷			
	B 2	H u r	サラマンドルII	ワーレン	0	0	2	1	5	少尉	軽傷	撃墜			
永山真時	1 4	6 F 5	マルスバーン・スレイヤー	ダリューン	2	0	3	1	准尉	軽傷	少破				
	1 4	Y k 9	ロシアン・ブロスター	ホルスト・シューラー	0	0	2	2	2	准尉	軽傷	中破			
	1 5	6 F 5	アメジスト・ボーイ	アレ・サジス・シェイクリ					中尉	戦死					
	B 0	H u r	ウェディング・スレイヤー	カーテロゼ・クロイツェル	0	1	4	2	准尉	軽傷	大破				
	B 1	H u r	カイザー・オブ・スレイヤー	アルスラーン	0	0	1	1	准尉	軽傷	撃墜				
	V F 6 F 5	クリスナル・キッド	ユリアン・ミンツ		0	0	3	2	准尉	軽傷	少破				

	V F	6 F 5	ターピール・スレイヤー	キシュワード	1	0	2	1	准尉	生還	無傷		
	V B	S B D	ツイントラブル・スレイヤー	エラム					中尉	戦死			
	V B	H H r	クラウン・スレイヤー	アルフリード					准尉	軽傷	中破		
	V B	H H r	クラウン・スレイヤー	ナルサス	0	0	1	1	准尉	軽傷	中破		
林孝始	0 0	G S p	Seiren-III	ルーフ・ラングレン	1	0	4	7	1	0	大尉軽傷	中破	
	0 0	S p t	Tyrfingr	フォルカー・ガーランド	0	0	4	3	准尉	軽傷	少破		
	0 0	S p t	Harpua-II	ジュン・ランカスター	3	0	4	6	1	3	大尉	生還	無傷
	1 4	P 4 O	DEATH BLADE	セシリア・ブレニム	0	0	1	1	准尉	生還	中破		
	1 4	P 4 O	THUNDER BIRD	エディ・サンダーボルト	0	0	1	0	8	少尉	軽傷	中破	
	B 0	P 4 O	Thunder BLADE	ジョージ・ラインバッカー	0	3	1	4	2	少尉	軽傷	大破	
	B 0	P 4 O	ThunderBLASTER	ジル・グラスランナー	0	0	8	2	准尉	重傷	撃墜		
	B 0	P 4 O	Thunder DRAGON	ジョディ・オスカー					中尉	戦死			
	V F	6 F 5	Kerberos	マーティン・オルズ	0	0	8	4	准尉	軽傷	少破		
	V F	H H r	Blood hound	シェリー・ボーフォート	1	0	3	2	准尉	生還	無傷		
	V E	S f r	Valkyrja	リンダ・フルマー	3	0	5	7	9	大尉	生還	墜落	
	V B	S B D	Ultimate TIGER	デーモン・ブラッドショーン	0	3	2	0	4	少尉	軽傷	少破	
	V T	B a r	Sleipnir	ジャン・ミッシェル・バイル					中尉	戦死			
	V T	B a r	Sleipnir	ジェームス・アンダーソン	0	2	1	9	5	少尉	軽傷	少破	
				クレイ・コリンズ	8				准尉	重傷			
				カール・グレイストーン					少尉	回復			
				ジェフリー・アイザック					少佐	回復			
古橋道生	0 2	6 F 5	Wink² II	ローラ・バタネン	0	0	9	6	准尉	生還	無傷		
	0 2	6 F 5	X wing II	C. ガルシア	1	0	1	0	6	少尉	軽傷	少破	
	0 2	S p t	LOVELY KNIGHT	Z. マクガイア					中尉	戦死			
	0 2	S p t	MAGIC STRAT	N. ライアン	0	0	6	5	准尉	軽傷	中破		
	1 4	6 F 5	—	シャクロ・カン	1	0	2	1	准尉	軽傷	少破		
	1 4	6 F 5	—	シャーマン・カーン	0	0	1	1	准尉	生還	無傷		
	1 4	6 F 5	—	ジョン・ディリー	0	0	1	1	准尉	軽傷	中破		
	1 4	P 4 7	ブッチャヤー 3 号	ジョン・アンダーソン	3	0	2	9	6	中尉	生還	無傷	
	1 5	6 F 5	—	アーナードルフ	0	0	1	1	准尉	軽傷	中破		
	1 5	6 F 5	—	ギア・シーダ					中尉	戦死			
	1 5	6 F 5	—	シャトラー・ヴァニ					准尉	事故			
	1 5	6 F 5	—	ラウマ・ケップ					准尉	事故			
	B 1	P 3 8	イントルーダーI	アーク・ティピット	0	2	2	8	6	中尉	生還	無傷	
	B 1	P 3 8	走れレッドバイク	A. F. シルビア	1	2	1	9	4	少尉	生還	無傷	
	B 2	6 F 5	Beautiful Maly	R. R. マクドナルド	0	1	1	4	6	少尉	軽傷	少破	
	B 2	P 3 8	負けるなドラゴンズ	R. エリクソン	1	0	1	8	5	少尉	生還	無傷	
	V F	6 F 5	—	ヴェラ・ガルフ	0	0	1	1	准尉	生還	少破		
	V E	6 F 5	—	シャキア・イガイク	1	1	4	1	准尉	軽傷	中破		
	V B	S B D	—	ニック・ファルド	0	0	1	1	准尉	軽傷	少破		
	V B	S B D	—	ジョージ・ペーパード					中尉	戦死			
	V B	S B D	—	ニプリン・フォード					中尉	戦死			
	V B	S B D	—	ジャギュア					中尉	戦死			
	V B	S B D	—	ホーリー・テーピー					中尉	戦死			
	V B	S B D	—	ルーベンス・ペイイ									
森田欽也	0 0	S p t	—	ハロルド・アンダーソン	0	0	3	3	准尉	生還	少破		
	0 0	S p t	—	リチャード・ホール	1	0	5	3	准尉	軽傷	少破		
	0 0	S p t	—	P. J. ギルモア					中尉	戦死			
	0 0	S p t	—	W. T. スミス					中尉	戦死			
	0 0	F 5 U	デュラハン×54	独雷安土	5	0	119	1	8	中佐	生還	無傷	

1 3	6 F 5	—	アーチー・C・クラーク		0	0	5	3	中尉	戦死		
1 3	6 F 5	—	C. ハートマン		0	0	5	3	准尉	生還	無傷	
1 3	6 F 5	—	J. ジョンソン		1	0	7	3	准尉	軽傷	中破	
1 3	6 F 5	—	R. リン						中尉	戦死		
1 5	P 4 0	—	L.D. ウィキンズ		0	0	8	4	准尉	生還	無傷	
1 5	P 4 0	—	M. シース		2	0	1 1	4	准尉	生還	少破	
B 0	B 5 N	—	B. マッカーサー		0	1	2 5	8	中尉	生還	中破	
			O. ゴールド				2 0	5	少尉			
			R. B. ドアマス				1 3	3	少尉	重傷		
B 0	B 5 N	—	D. マッキンタイア		0	2	5	1	准尉	生還	無傷	
			A. ジョンソン									
			T. コーオル									
B 0	B 5 N	—	G. テイラード		0	1	3	1	准尉	軽傷	少破	
			M.F. キャメロン									
			R. E. エバンス									
B 0	B 5 N	—	H. ホワイト		0	0	2 3	8	少尉	生還	少破	
			T.S. ロバーツ				1	1	准尉			
			R.C. アンダーソン									
B 0	B 7 A	—	G. ルーカス		0	2	3 7	8	中尉	軽傷	少破	
			R. クロケット				2 5	5		重傷		
V F	6 F 5	—	ケウェン・カオ・キ		0	1	6	3	准尉	軽傷	中破	
V F	6 F 5	—	ブランク・コードン		0	0	2 5	9	中尉	生還	無傷	
V E	6 F 5	—	E.A. グレートハウス		1	1	6	3	准尉	軽傷	中破	
V E	6 F 5	—	F. マクファーリン		0	2	1 3	6	少尉	生還	無傷	
V B	S B D	—	ロバート・ブラウン		0	1	2 6	6	中尉	軽傷	少破	
			ケネス・E・ホルコム				8	2	少尉			
村松雅和	1 5	S p t	AIR WOLF	J. ウォーリック	0	0	1 1	6	少尉	軽傷	少破	
	1 5	P 5 1	R.A. M A L S	S. タンカレー	2	0	6 3	1	0	大尉	生還	無傷
	B 2	H u r	Tuotatian weng	楊 遇春	0	2	1 8	4	少尉	生還	無傷	
	B 2	P 4 7	雷神号	許 仲	0	2	3 1	7	中尉	生還	無傷	
	B 2	4 7 N	雷帝号	陳 濟	0	2	5 3	9	大尉	生還	少破	
	B 2	B a r	Qitiandasheng	王 彥章					少佐	戦死		
				S. ルイス					大尉			
	V E	F 6 F		関 図	0	0	2 9	7	中尉	生還	無傷	
	V T	S M q	Night Peeper	マティーニ	1	2	7 1	1	8	少佐	生還	無傷
	V T	S M q	Night Witch	P. ヨハンソン				6	1	准尉		
				K. リキュール	0	2	7 0	1	3	少佐	生還	無傷
				W. ウェイトリー				5	0	准尉		

☆略号解説（申請機・新記号のみ）

S f r…シーファイア F. 4 5 4 7 N…P - 4 7 Nサンダー ボルト

☆状態欄解説

生還…文字通り。 軽傷…ちょっとした怪我です。 重傷…文字通り。 この場合に限って治療費以外は無料で作戦を回避できます。 戦死…文字通り。 事故…事故死。 特進の対象になりません。

☆機体欄解説

無傷…文字通り 少破…軽いダメージ 中破…少し痛いダメージ 大破…使用不能
撃墜…文字通り 壊失…母艦沈没・基地攻撃による喪失 墜落…前記以外による喪失

☆次回作戦

《基地》

准将：イザベリア軍が最近また元気になってきたようだ。台湾その他へ増援兵力を送らずに済むようになったので、それで余裕ができたのかも知れん。連合国は目下のところ台湾制圧にかかりきりの状態だしな。スル海の南半分はどうにかおさえているが、戦艦十数隻に空母7、8隻あまりを主軸にした敵が本気になって押し寄せてきたら、我々としてはどうしようもない。アメリカから大型巡洋艦が3隻プレゼントされたからといって焼け石に水だ。……そこでだ。今のうちに一気に潰す。そうしておけば、いずれ開かれる和平会議にもかなり有利な条件に持ち込むことができる。今回は本気でいけ。潰せるだけ潰せ。

《空母》

ケーディス大佐：台湾攻撃パートⅡだ。日本軍の在台湾部隊は精強揃いで、今までにもかなり辛酸をなめさせられている。しかも困ったことには、連中はどうやらキングタイガー級の重戦車を台北市周辺で待機させているらしい。……いや、キングタイガーそのものではないようなのだが、それくらい強いのだ。M4シャーマンでは歯が立たん。今までの薄っぺらな棺桶とは違う。既にやや突出気味の一部の隊がかなり痛い目に遭っている。

そこで、今回の目標だ。VEは台北市の航空隊の殲滅。爆装して山をスレスレに飛び越えて侵入し、基地から飛び立たないうちに叩き潰す。VBは市郊外にある軍補給施設にいる車両を破壊。VTはそこの倉庫を爆撃する。対空砲火は異常に厚いものと考えていいだろう。航空隊もゼロではなく、新型機を配備しているという情報が入っている。

◇次回の編成

《基地》

70FW <先峰>

700FS…第1波 701FS…第2波 702FS…第2波

71FW <直衛>

703FS…第1波 704FS…第2波 705FS…第2波

70BW <爆撃>

700BS…第1波 701BS…第2波 702BS…第2波

70TW <雷撃>

700TS…第1波 701TS…第2波 702TS…第2波

※第1波の部隊は勢力確認を兼ねる重要任務であるため、OP4以上の者のみとする。借金がある者の「第1波参加義務」は特別に免除する。また、「先陣争いルール」はこれらの部隊のみ適用されない。

※70BWの者は、爆撃方式を水平／急降下のどちらか選択すること。

※70TWの者は、なるべく雷撃目標を艦種で指示すること。（例：目標は重巡級の艦）

《空母（註）》

「ダルサラーム」

VF…艦隊護衛 VE…航空撃滅戦 VB…対車攻撃 VT…補給施設爆撃

註：F6F、F4U、SBD、バラクーダ、B5N、B7A、シーモスキート、TBM、フックド・ハリケーン及びシーファイアのみ参加可。

なお、VTはバラクーダ・B5N・B7A・シーモスキート・TBMのみ。

※VE参加者は搭載力250kgを確保しておくこと。

※空母シナリオは制式機使用キャラのみ選択可能です。※

※空母のキャパシティは100機です。あふれたものは基地飛行隊の第1波に回されます。

※作戦指揮は、イギリス軍がとります。

☆ペンネームのこと

あの、一つも提案なかったんですが。これってやっぱり地の名前でやれってこと？とりあえずそう解釈しましたんで、これからはそうしますけど……。

PC リプレイ

部隊は作戦期間のほとんどを、サンダカンを拠点にして作戦していた。敵の部隊はこちらの行動を牽制するかのように空母を含んだ小艦隊で攻撃をしかけて来るだけだった。主力はどうも、サマール島で拠点を設営中のアメリカ軍撃滅に集中投入されていたらしい。そんなある日のことである。

哨戒飛行に飛びたった 70 FW の隊員は、沖合 50 カイリほどのところにいつもと同程度の艦隊を発見した。戦艦 1 隻、駆逐艦らしきもの 6 隻。くわえて補給艦 1 隻。空母がいらないのが気に入らないが、向こうもこちらをあまり刺激しないようにしているのかもしれない。しかし、実戦ではそれは時として致命的なミスになる事もある。今回がその時だ、とその時その場にいたパイロットたちは思ったことだろう。

接触しつつ彼らは爆撃隊の到着を待った。焦らずともショーはゆっくり見物できるのだ。

……ところがどっこい、空母は別のところにいた。爆撃隊が来るか来ないかの絶妙なタイミングを見計らって、敵の戦闘機が大挙押し寄せてきた。ほとんど烈風だから、正規軍を見てよさそうである。イザベリアの正規軍——特に艦載機部隊——は技術・士気ともに高いレベルのままであるから、侮るわけにはいかない。事実、彼らの攻勢は鋭かった。先陣争いをやる余裕すらなかった。彼らはまず定石通り円盤機 (F5U) を避け、他の機に攻撃を集中させてきた。護衛隊の分を計算に含めてもほとんど倍近い敵機である。独雷安土は適当に手近なところから数機ほどつまみ食いすることはできたが、F5U がいるところには敵機の空白部分ができるといった具合で、なかなかちがあかない。しかもかわすのが早いのと烈風の防弾能力は F4U 並みにあるとので、戦果そのものは思うように上がらない。逆にイザベリア側の方も始終周りに特定の機種が来ないように気を使わなければならないこともあって、被害の方もそう増えはしなかった。よく言って引き分けだろうか。

艦載部隊の方はそう呑気なことも言つていられない。何しろ敵はあの台南空である。ラバウル生き残りのベテラン揃い。激しい消耗でかなり戦力が落ちている日本軍も、ここだけは別格だった。何しろここが落ちると、南方からの資源輸送が完全に途絶するのだから。蛇の目マークやら星マークやらと一緒に大部隊を構成して空爆を行なうのもなかなか気持ちがいいものだが、それも敵の迎撃と対空射撃が穏やかだったなら、というただし書きである。

そう、敵の迎撃は凄まじかった。空を飛んでいても太陽が黒くかすんで見えるのだ。対空射撃の流れ弾と、敵味方の被弾機が噴く黒煙とで。対空砲による損害と敵機によるものとで半々といった率だろうか。与えた損害もそれなりにのぼったが、受けた損害もひどかった。こうなると正面からまともにぶつかるといった作戦では駄目なのだろう。結局今月一杯かかるべく、台湾の南半分を何とか占領するに留まってしまった。これでも一応「日本の補給路を遮断する」という作戦の第一目標は達成できたことになる。後は全土を押さえてこの立場を確定するだけだ。

今回の認可機について

P-47N…800 zg